

# 奥会津だより



「お手掛けくつぎ」  
年始の客に蓬萊飾りの「お手掛け」を差し出すのは小さな子ども役割  
「お手掛け」に右手で「礼して、正月料理を頂いたこと」にする  
絶えずつらになりながらも細々と引き継がれて来た正月の習い



写真：菅 敬浩

聞き書き

三島町立三島小学校 六年 飯塚 真林



聞いた人 飯塚 千代枝

私は、ばあちゃんに結婚式について話を聞きました。  
これは、いつごろの写真ですか？  
今から五十三年前、昭和四十年四月二十日の写真で、私が二十三歳、夫が二十八歳の時です。  
結婚式は、いつやる予定だったんですか？  
ほんとは、四月七日にやる予定でした。

なぜ結婚式の日を変えたのですか？  
大雪で、冬は除雪車がうごかなくて、やっと、春になって除雪車がうごいたので、四月二十日に結婚式をやることになりました。

今は、結婚式の日を変えるのは、ありえないから、ばあちゃんから結婚式の日を変えたと聞いてビックリしました。けど、そのおかげで、おばあちゃんとおじいちゃんが結婚して、私まで命が繋がっているの、命を大切に生きていくと同時に、おじいちゃんおばあちゃんに感謝したいです。

取材ノート

祖母・飯塚千代枝さん  
(昭和十七年生 七十六歳)  
孫・飯塚 真林さん  
(平成十七年生 十三歳)  
(三島中一年)



Q..真林さん、クリスマスはどうでしたか？  
真林さん..同級生五人で、クリスマス会をやりました。ビンゴとか、KONIGで怖い動画とかを見ました。  
Q..五人の男女比は？  
真林さん..女子が三人で男子が二人。  
Q..昭和四十年に撮影された写真、誰が撮影したのでしょうか？  
千代枝さん..誰が撮ってくれたんだろうなあ？いっぱい撮ってもらったし、二人の写真もあるんだから、写真屋さんだと思います。  
Q..結婚式の時、大雪で大変だったのですか？  
千代枝さん..昔は、除雪なんてしないから、結婚式が延期になったの。  
Q..旦那さんとは、どのように知り合ったのですか？  
千代枝さん..それは、見合いです。  
Q..お見合いはいつだったのですか？  
千代枝さん..一月頃だったと思うよ。  
Q..真林さん..たった三ヶ月で結婚、早いなあ。  
Q..旦那さんは、その頃はどんなお仕事をしていましたか？  
千代枝さん..夏は、百姓・農業。冬は、季節分校の先生をやっていたんだ。  
Q..千代枝さんは、子どもさんは何人？  
千代枝さん..六人います。長男が昭和四十一年に生まれて、長女が昭和四十二年に生まれました。  
Q..忙しい大変な新婚時代ですね。  
千代枝さん..あの頃、牛もいたし、乳牛だったの。搾乳もしました。  
Q..新婚旅行は？  
千代枝さん..新婚旅行は行かなかったよ。実家にいた時にはご飯作ったこと無かったから、このばあさんに言わつちゃこやってるしかない。  
Q..実家の大谷と、嫁に来た西方との違いは感じましたか？  
千代枝さん..ここは平らだから、田んぼだあ何だあって、楽だよな、と思った。  
Q..今、お孫さんは何人ですか？  
千代枝さん..孫は十二人、ヒコ(ひ孫)は二人。  
Q..全員、その全員の名前を覚えていらつしやるのですか？  
千代枝さん..一緒に来ると、ごちやごちやになる時がある..  
Q..旦那さんとお二人で旅行とか行きましたか？  
千代枝さん..後で連れていくからなんて言われてたけれど、無かったなあ。でも、長男があつちやつちや連れて行って

奥会津の鳥

〈ハヤブサ〉

写真・文：新国 勇



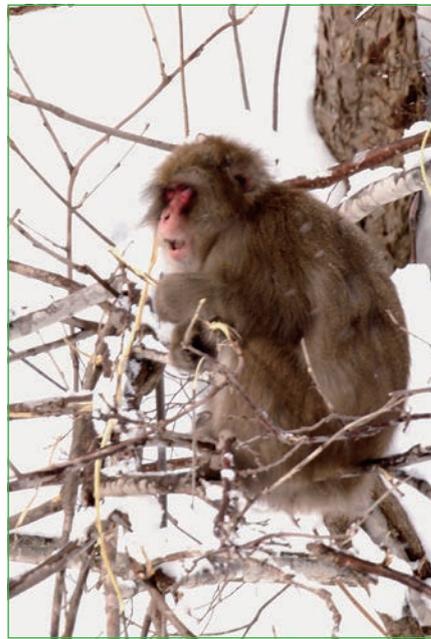
海岸や山地の岩場を生息地にしていて、今では大都会のビルでも繁殖するようになった。その理由は、エサとなる小鳥が増えたからだ。奥会津では、昔ながら深山の岩山に暮らし、「ツボリ」と呼ばれている。ツボリ沢という沢があるが、ハヤブサの生息地にちなんだものだろう。

くれた、京都・奈良・伊勢...  
Q..今まで、つらかったことは何ですか？  
千代枝さん..つらかった、なんて思っているヒマが無かった。  
Q..お孫さんいっぱいいて、今、幸せですね。  
千代枝さん..お盆の時とか、みんなが集まって来てくれる時は、いいよなあ..  
※真林さんの学年は、全員で五人。幼稚園からの同級生で仲良し。千代枝さんの時代は七十人だった、とのこと。  
※真林さん達は、同級生が誰が好き、というのはいくらもわかってしまつらしい。  
※千代枝さんの得意な教科は数学と英語。真林さんの得意な教科は理数系。中学校は教科担任ということの差異ぐらいて、小学校と比べて厳しくなつたとかつらいとかは、無いとのこと。  
写真・文責：菅 敬浩

## 幣 (シデ) 作り



お正月には幣(シデ)を作って祝いと祈願をこめる。お手掛けの盆(表紙)には、片側を5回折り端をクルリと巻いた簡素で美しい形を、肥後守(ひごのかみ)一本で作る。子どもの頃から習い覚えた、新しい年を迎える慎ましい仕事だ。



農作物を荒らす害獣となりつつあり、昔ばなしに出てくるような親しみが薄らいできた。しかし吹雪のなか、木の皮を懸命に食んでいる姿を見ると、野生動物を実感できる。霊長類の間では、ヒトを除いてもっとも高緯度な土地に生息し、多雪地に生きる唯一のサルである。

## 奥会津の動物

(三ホンザル) 写真・文: 新国 勇



## 草・樹を使って

## カンジキ

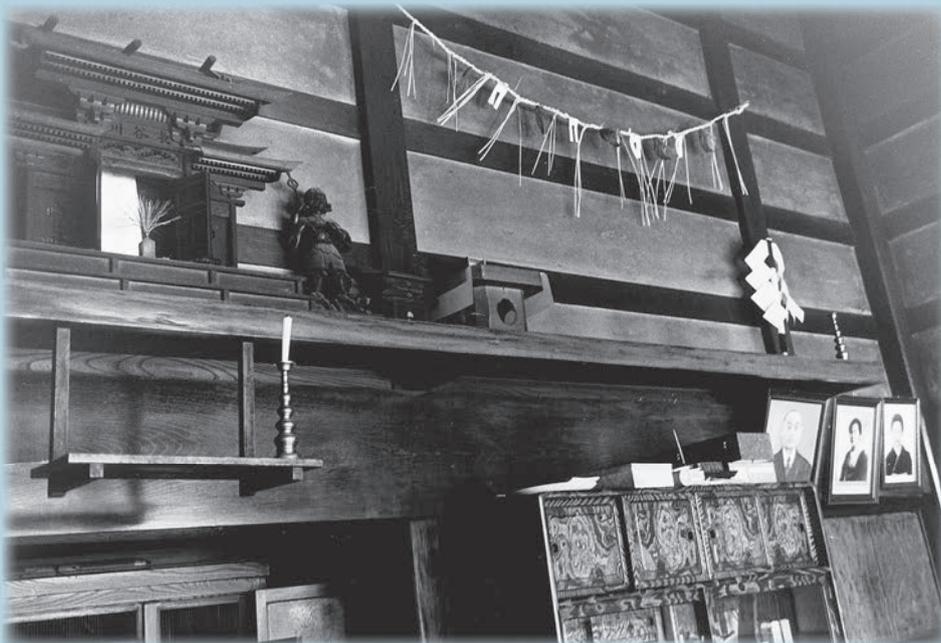
雪道を踏みしめるカンジキは、夏場に作られる。晩秋に採った根曲がり竹を、お湯に浸けたり火で焼いたりして、輪や楕円形に曲げ、針金などで数ヶ月間固定する。根曲がり竹以外にもクロモジなど硬い木が使われる。「夏かんじき冬まぐわ」と言われるように、使う季節のために準備にいそむ季節がある。



## 奥会津の食材と料理

(ひしお(醬)漬け)

ぬるま湯で溶いた麴と醬(ひしお)、塩をまぜた床に、切込みを入れて乱切りした大根と葉を並べ、これを交互に積み重ねて数日置くと、麴の甘みもほどよく馴染んだ漬物ができる。寒い時期に作る一品なので、薄く張った氷を割って取り出すことも。



## 「空間」

神棚の頭上には物を置かない。磨き上げ、木目も見事な神棚に御幣を捧げ、新しい注連縄を張る。生活臭を排した静謐な一室。天井を貼らず、吹き抜けの広い空間は神域である。

(平成十五年二月 金山町中川)

## 奥会津の暮らしと室内

写真・文 竹島善一

# Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう？

「あっちゃこっちゃ」 ヒント：P2.「聞き書き百選」をご参照下さい。

正解者の中から抽選で2名様に、只見町の「木製カップ」をプレゼントいたします。

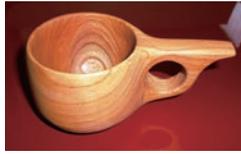
●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979  
奥会津書房 宛

●応募締切：2019年2月15日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。 ※クイズの答えは次号109号で発表いたします。



◎107号「おめえ」の答え：仏壇のある部屋  
たくさんのご応募ありがとうございました!

奥会津だよりの  
定期読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaiizu.net

# 読者コーナー



●表紙の色鮮やかな紅葉の写真を見て、出かけることが少なくなった父母に見せてあげたくて手に取りました。開くと懐かしい昔の様子の写真に、父母と話はずみませんでした。来年は奥会津の本当の紅葉を見せてあげたいと思いました。(郡山市：O.Rさん)

●「キクの花のクルマ和え」がとても美味しそうで、このようなものを料理に添えてくれるお店が、只見線沿線や若松市内など、気軽に訪ねられるところにあればいいなと思いました。(東京都：M.Wさん)

●市のセンターで初めて手に取りました、文化や風習に関心があり、「聞き書き百選」は大変興味深く拝読しました。きちんと伝えていく大切さを感じさせる記事でした。(千葉県柏市：O.Yさん)

●60年前の私の村では「おびとき」と言って、女の子中心にお祝いした記憶があります。「といあげばあ」が今も居ることに感動しました。(我孫子市：N.Aさん)

●いつも心温まる記事の満載で興味深く読んでいます。古い資料の写真、風景写真はとてもいいです。故郷への起爆剤になってほしいですね。(千葉県柏市：H.Sさん)

奥会津振興センターからのお知らせ

## 第9回 歳時記の郷 奥会津 フロントフェア

日 2019年  
時 3月1日(金) 9:30～19:00(予定)  
3月2日(土) 9:30～18:00(予定)

会場 コラッセふくしま  
福島観光物産館1階(福島駅西口)

福島の奥会津地方の豊かな自然から生まれた自慢の逸品を販売いたします。奥会津の魅力を満喫できる会場へぜひお越しください。

## 奥会津イベント情報

2月～3月

期 日	イベント名	町村名	場 所	問 合 せ
2月2日(土) ～3日(日)	第39回会津やないづ冬まつり	柳津町	道の駅会津柳津	会津やないづ冬まつり実行委員会 ☎0241-42-2114
2月9日(土)	第47回雪と火のまつり	三島町	三島町町民運動場	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
2月9日(土) ～10日(日)	第47回只見ふるさとの雪まつり	只見町	只見駅前広場	只見ふるさとの雪まつり実行委員会(只見町観光商工課内) ☎0241-82-5240
2月16日(土) ～17日(日)	第46回クロスカントリースキー伊南杯	伊南地域	伊南クロスカントリースキーコース	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
2月17日(日)	第41回会津かねやま雪まつり	金山町	金山町民体育館グラウンド	金山町観光物産協会 ☎0241-42-7211
	第39回読売杯南郷スラローム大会	南郷地域	会津高原南郷スキー場	会津高原南郷スキー場 ☎0241-73-2111
2月24日(日)	第36回からむし織の里雪まつり	昭和村	道の駅からむし織の里しょうわ	昭和村観光協会 ☎0241-57-3700
3月2日(土) ～3日(日)	TADAMIスノースポーツフェスティバル2019	只見町	只見町亀岡多目的活性化広場 サンドバレーコート	特定非営利活動法人ただみコミュニティクラブ ☎0241-86-2671
3月3日(日)	第17回福島民報杯会津高原たかつえB級GSポイント大会	館岩地域	会津高原たかつえスキー場	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
3月4日(月)	ひな流し		高清水地区	三島町教育委員会 ☎0241-48-5599
3月16日(土) ～17日(日)	第18回全国編み組工芸品展	三島町	三島町交流センター山びこ	三島町生活工芸館 ☎0241-48-5502
	第38回三島町生活工芸品展		三島町生活工芸館	
3月23日(土)	2019林千春メモリアルSAF公認記録会	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉スキー場	スキー大会事務局(檜枝岐村役場総務課内) ☎0241-75-2500
3月24日(日)	第44回SAF公認朝日杯スラローム大会			
3月下旬	第30回福島民報杯スノーボード南郷CUP	南郷地域	会津高原南郷スキー場	会津高原南郷スキー場 ☎0241-73-2111



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)

発行日：1月20日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター内奥会津振興センター TEL.0241-48-5525

http://www.okuiaiizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。